

水滸伝を知る

漢

たちから学ぶ

第六回

加来耕三
(歴史作家)

とにかく、魅力的な登場人物が多い。豹子頭林冲、花和尚魯智深、一文青、扈三娘、青面獸、楊志、行者、武松、双鞭呼延灼云々。かれらはみな一騎当千の「強さ」を持っていたが、その多くは権力の迫害にあり、梁山泊の別天地でなければ生きていけ



6月5日発売DVD「水滸伝」より

『水滸伝』最強の好漢は誰か!?

ない弱さをもっていた。林冲ほどの武芸者が、一度権力者の卑劣な罠に墮ると、すべてを失い、無法者の世界に落とされてしまう。も。強さには、矛盾があった。権力に迫害され、それに耐える林冲と、耐えることを放棄した林冲では、はたしてどちらが強かったのか。

『水滸伝』は、わずかな史実の断片をもとに、民衆がさまざまに「思い」を取り入れ、長い歳月をかけて創りあげた夢の世物(多くは権力)に挑界であった。民衆の叡智は、この物語をねりあげた過程で、この世に永久不変の強さのないことを発見する。と同時に、いくら個人的に強くても、権力にはかなわないこと

プロフィール/かくこうせう
1958年大阪府生まれ。